



自分で 決める!

令和5年8月30日
熊本市立健軍東小学校
校長 吉田 高広

いよいよ2学期がスタートしました。昨日の始業式では、少し疲れた様子がうかがえる子どもたちもいましたが、たくさんの顔を揃えてくれたことが何よりうれしかったです。運動会をはじめとした行事が目白押しの学期です。一つ一つに真剣かつ楽しみながら取り組んで、充実した学期にしてもらいたいものです。保護者の皆様方、2学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「心のスイッチ」を切り替えよう! ~2学期始業式~

始業式の私の話では、「心のスイッチ」という詩を紹介しました。教育者である東井義雄さんのもので、東井さんは別な詩では「自分は自分を創る責任者なんだからな。」ということもおっしゃって若い人たちに「自分で決める」ことの大切さもよびかけておられた方です。「あなたは“させられる人”ではなく、“する人”になっていますか。」という主体的に生きることの重要性を詠んでおられると思います。こういった点に着目し、今回この「心のスイッチ」という詩を紹介させていただきました。

「心のスイッチ」 東井義雄

人間の目はふしぎな目 見ようという心がなかったら 見ても見えない
人間の耳はふしぎな耳 聞こうという心がなかったら 聞いていても聞こえない
あたまもそうだ はじめからよい頭 わるい頭のくべつがあるのではないようだ
「よし、やるぞ!」と 心のスイッチが入ると頭もすばらしいはたらきを始める
心のスイッチが人間をつまらなくもし すばらしくもする
電灯のスイッチが家の中を明るくもし 暗くもするように

出典

「自分を育てる
のは自分」

この詩を紹介した後、授業に関するお話を付け加えました。授業では「先生が勉強（内容）を教えてくれるものだ」と思っている人は多いと思います。確かにそういう場合もあるとは思いますが、よりよいものがあるんです。それはみなさん（学ぶ人）が、自分から進んで“学び取りに行く”ことです。どういうことかということ、先生が教えてくれるのを待っていて、教えてもらう（与えてもらう）場合と、自分から“これについてわかるようになりたい”“こんなことができるようになりたい”と思いながら学ぶのとでは、身に付き方が全然違ってきます。与えられたものはすぐに消えていきますが、学び取ったものは簡単には消えていきません。そのためにも「今日はこんな（内容の）べんきょうをするんだな。だったら自分はこんなことがしりたい・わかるようになりたい・できるようにになりたい」という気持ちで学びにのぞんでください。始業式のお話の中での表現は多少違ってはいますが、概して上記のようなことを伝えたくてお話ししました。発達段階によって受け取り方も違って来るとは思いますが、これからの時代、学びとはこのようなものだとは私は確信しています。新しい時代をたくましく生きていくために、この基本姿勢は必須です。この機会に、ご家庭でお話ししてみてくださいとうれしいです。

行事予定 8/29~9/

8月29日(火) 2学期始業式 8月30日(水) みどりの時間 ALT 来校 5年集団宿泊教室説明会
9月 1日(金) 委員会 教科書配付 9月 4日(月) 校内研修 避難所跳箱贈呈
9月 5日(火) 校内研修 9月6日(水) 児童集会 クラブ活動 集団宿泊教室健康相談